

令和8年4月

魚津市定例記者会見

日時：令和8年4月1日(水) 午後1時30分～午後1時45分

場所：市役所 第1会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞社、北陸中日新聞、NHK富山放送局、KNB、NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、企画広報室長



1 副市長からの発表事項

※村椿市長が発熱による体調不良で記者会見を欠席したため、石黒副市長が代理で説明しました。

(1) 事業承継支援に関する連携協定締結式の実施（商工観光課）

事業承継の支援に向け、魚津市、魚津商工会議所、魚津観光まちづくり株式会社、北陸銀行、富山銀行、北國銀行、富山第一銀行、にいかわ信用金庫、日本政策金融公庫富山支店及び富山県事業承継・引継ぎ支援センターが相互に連携・協力する協定を県内で初めて締結します。

締結式日時 令和8年4月24日（金）13時30分～14時

会場 魚津市役所 2階 第1会議室（魚津市釈迦堂1丁目10番1号）

※以下資料に基づき説明。

(2) 謎解き宝探しイベント「ロード・オブ・ザ・蟹気楼」の開催（農林水産課）

蟹気楼ロード沿線で謎解き宝探しイベントを開催します。応募者には、抽選で海産物セットや食事券等の景品を予定しております。地域の自然や歴史を学ぶ機会として、ぜひ挑戦ください。

開催期間 令和8年4月24日（金）～6月30日（火）

開催場所 蟹気楼ロード沿線の施設や名所など

※以下資料に基づき説明。

(3) 総務省 ふるさと住民登録制度モデル事業採択（企画広報室）

総務省の「ふるさと住民登録制度モデル事業」の対象として、魚津市は、富山県及び高岡市とともに採択されました。全国自治体の取組の参考事例を創出するとともに、アプリの利便性の実証を行うため、アプリの正式リリースに先立ち、モデル事業を実施します。今後は、県及び高岡市と連携しての取組となります。本市においては、魚津市のコアなファン層獲得及び1次産業の応援いただくため、「魚津まつり応援団事業」及び「うおづ助っ人マッチング事業」を中心に実施していく予定です。

※以下資料に基づき説明

2 質疑応答の内容

○事業承継支援について

《記者からの質問》

連携協定を締結する背景や課題について、おそらく全国的に後継者不足などの問題を指摘されていると思いますが、魚津市として取り組む背景や課題についてお聞かせください。また、全国の事例では、特設ホームページの作成やいろんな事業者と協力という事例があるようですが、具体的な内容についてお聞かせください。

《副市長回答》

事業承継は全国的な課題。市内中小企業においても、後継者不足など同様の課題があり、商工会議所や金融機関など、それぞれの機関で相談対応、支援をされています。今後は、事業承継に関して、相互に連携し、実のある支援を考えてまいりたい。具体的な内容については、現段階では、申し上げることはできません。

○ふるさと住民登録制度モデル事業採択について

《記者からの質問》

具体的な内容について、富山県、高岡市及び魚津市の3者による連携についてお聞かせください。

《副市長回答》

具体的に富山県と高岡市との連携については、詳細は今後詰める予定です。魚津市としては、「魚津まつり応援団事業」及び「うおづ助っ人マッチング事業」を中心にアプリを活用し実施したいと考えております。